

動物実験に関する自己点検・評価報告書

近畿大学

平成 23 年 3 月

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 近畿大学動物実験規程。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 各学部等において動物実験を実施する際は、近畿大学動物実験規程に準拠している。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

## 2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 近畿大学動物実験規程（平成19年4月1日施行） 委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 上記資料に基づく。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

## 3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
近畿大学動物実験規程、動物実験計画書、動物実験計画書変更願、動物実験結果報告書。
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
動物実験計画書の審査要領が定められていない。
4) 改善の方針、達成予定時期
平成 23 年度中に、動物実験計画書審査要領を整備する。

## 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
近畿大学安全要項 (感染性廃棄物管理、有害化学物質の取り扱いについてなど)、バイオセーフティ委員会規程、組換え DNA 実験安全管理規定。
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
火災、地震等の災害マニュアルが定められていない。 一部の学部において、感染動物実験などに対応する実施体制が適切に整備されていない。
4) 改善の方針、達成予定時期
新しい動物実験施設を建設中なので、完成時までには整備する予定である。

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 実験動物飼養保管施設一覧表、飼育保管施設申請書報告、実験動物の使用保管施設(一覧)許可施設一覧(写真)、飼養保管施設設置申請書。
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 機関内の実験動物飼養保管施設の申請、視察、承認が実施されており、それらの記録も保管されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

## 6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

複数の県にまたがる5キャンパスがあり、動物実験を行なう施設は6学部、研究所および農場に及ぶ総合大学である。自己点検・評価は、通常各学部等で行なっている。今回の自己点検・評価報告書の作成にあたっては、まず各学部等からの報告をうけ、続いて報告書作成担当者が各学部等を訪問し点検した。今回、外部検証を直接受ける施設として、規模的な観点から医学部を希望する。
---

## II. 実施状況

## 1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
近畿大学動物実験規程、実験動物委員会規定、動物実験委員会名簿、委員会議事録、動物実験結果報告書、飼養保管施設設置許可申請書、教育訓練資料一式、動物実験計画書の審査および動物飼養状況、動物実験計画書一覧、動物実験等に関わる教育訓練開催状況、飼養保管施設設置承認一覧、実験室設置承認申請関係一覧。
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
動物実験計画書の審査要領が定められていない。
4) 改善の方針、達成予定時期
平成 23 年度中に審査要領のマニュアルを作成し整備したい。

## 2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
近畿大学動物実験規程、実験動物計画書一覧、動物実験結果報告書、動物実験計画書、動物実験計画の審査結果について改善指導者の資料 (添削計画書および委員からの意見書)。
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

## 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>近畿大学動物実験規程、動物実験計画一覧表、動物実験ごとの動物実験計画書の一覧表（遺伝子組換え実験、病原微生物飼養実験、毒物・発がん性物質投与実験、RI 使用実験）、動物飼養保管状況（事故報告）、微生物検査成績表、管理日誌。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

## 4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>近畿大学動物実験規程、実験動物飼養保管の SOP、実験動物飼養管理業務日誌、実験動物増減台帳、実験動物搬入記録、実験動物の適正な飼養および保管に関する教育実施報告書、動物実験計画書の審査および動物飼養状況。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>一部の学部において、動物実験飼養保管マニュアルが整備されていない。</p>

- 4) 改善の方針、達成予定時期  
平成23年度中に整備をしたい。

#### 5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

##### 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。  
 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。  
 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検の対象とした資料

近畿大学動物実験規程、実験動物飼養保管施設申請書および報告書、飼養保管施設設置許可申請書、許可設備一覧(写真)、緊急連絡網、保守点検の書類。

##### 3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

一部の施設で、実験動物飼養保管マニュアルが定められていない。

##### 4) 改善の方針、達成予定時期

平成23年度中にマニュアルを作成し整備したい。

#### 6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

##### 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。  
 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。  
 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検の対象とした資料

講習会実施記録、教育訓練および日程、教育訓練参加者一覧、教育訓練講師一覧、教育訓練資料一式。

##### 3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

実験動物管理者、動物実験実施者、使用者等に対する教育訓練は適正に実施されている。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

## 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

## 2) 自己点検の対象とした資料

大学ホームページ、動物実験結果(経過・最終)報告書。

## 3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

基本指針の適合性に関して、関連事項の情報公開が適正に実施されている。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

キャンパスによって実験施設の規模が異なるため、自己点検の対象となる資料などに一部不備が存在する点是否めない事実であるが、各学部等は可能な範囲で適正な動物実験を実施している。施設が拡大されることを見通して、規模は異なっても適正な動物実験が行なわれるように整備してゆきたい。